

アリラ・ウイジットパッチャラポン(タイ)



こんにちは。私はタイから来たアリラ・ウイジットパッチャラポンと申します。今年の1月から6月の間、日本の防災システムについて学ぶために、客員研究員として ADRC に滞在しています。

近年、世界中で前例のない大災害が発生しており、アジアでは地震、津波、暴風、干ばつ、洪水、地すべりなどによる被害を受けています。また他の地域でも様々な災害で大勢の人々の命が失われています。この 30 年以上の間、アジアは世界の中で自然災害による被害が最も多い地域であり、ある統計によると世界で発生した自然災害による被災者数の約 90%、被害総額や死者数も 50%以上を占めています。さらに今後、自然災害は増えていく傾向にあると言われており、アジア諸国は早期に対策を考え、行動に移していかなければなりません。

アジアの他の国と同じように、タイも干ばつ、洪水、地すべり、寒波、火災、暴風といった自然災害の脅威にさらされています。タイは熱帯に位置し、国土は 513,115 平方キロ、人口は 6,500 万人となっています。また、ラオス、ミャンマー、カンボジア、マレーシアと国境を接しており、北部は山岳地帯、北東部は高原地帯、中央部は沖積平野、南部は原始林からなっています。

2004 年 12 月 26 日に発生したインド洋大津波は、被害総額 20 億米ドル以上、GDP 伸び率も 0.4% の減少となる大災害となりました。大津波災害以前は、タイでは大規模な災害が発生したことはありませんでした。津波災害はタイに負の影響をもたらしましたが、一方では将来の災害への備えの重要性について思い起こさせてくれました。防災は途上国と先進国との相互扶助によって可能になると思います。幸いにも、アジアには ADRC があり、防災における知識、技術、情報の交換が行えることは素晴らしいことです。

私は、来日前、タイの内務省防災局研究・国際協力部に勤務していました。主な責務は国内外における関係者間での防災活動の調整です。ADRC での滞在期間中、日本の治水(洪水対策)について学ぶことを私の研究テーマとしています。洪水はタイにとって経済的損失という点から非常に重大で壊滅的な災害であることからこのテーマに関心を持ちました。日本は世界でもっとも洪水対策が進んだ国のひとつだと思っています。また、ADRC の他のメンバー国からも学ぶことを期待し、タイでの洪水対策向上のために多くのことが得られると信じています。ADRC の客員研究員として滞在している間、防災についての専門知識を学び、また、DDPM で学んでいることを ADRC の活動の更なる強化と維持に活かしていけるよう、貢献していきたいと思っています。

* タイのカントリーレポート 2008 年度版(英語のみ):

<http://www.adrc.asia/countryreport/THA/2008/thailand2008.pdf>